

11月15日（人生の達人セミナー〈口加塾〉挨拶）

変化を受け入れ、天命に運ばれていく

明日11月16日、口加高校は117回目の誕生日を迎えます。今日はその前日ですのでバースデーイブということになります。イブのお祝いという意味も込めて、11月15日には3年前から口加高校同窓会のお世話により「口加塾」と銘打って、本校を卒業された方にご講演をいただくという取組をしております。

さて、我が口加高校は1902年、明治35年に産声を上げました。日露戦争が勃発する2年前のことです。この間、2万人を超える卒業生を世に送り出し、明治、大正、昭和、平成、令和と5つの時代を見つめてきました。創立当時とは時代がすっかり変わりました。また学校の周りの環境も変わり、校舎も建て替えや改修を繰り返し現在に至っています。

変わるのは時代や環境だけではありません。私たち人間も変わっていきます。例えば、身長が伸びたとか、太ったとかやせたとか、しわが増えたとか外見が変わります。年齢と共に好みも変わるし、性格も変わってきます。また、私たちが過ごす毎日も日々刻々と変わっていきます。昨日とは違う今日という日を生きていますし、また明日は新しい1日がやってきます。自然災害によって突如として自分の生活や人生が一変することもあります。また、ある人との出会いで人生が変わることもあります。他人のたった一言で人生が変わることもあります。つまり「生きていく」ということは「変わっていく」こと、あるいは「その変化に対応していく」ことと言ってもいいかもしれませんね。

私は人生において自分の身に起こることには偶然はない、全て必然であると思っています。私が口加高校に来たことも必然。みんなとこうやって出会ったのも人生の必然。2年前には手術をして二週間ほど入院しました。これも人生の必然だと思って受け入れることができました。人生には嬉しいことも、悲しいことも、辛いことも、色々なことが起こります。これは決して偶然ではなく、必然だと思うと自分の身に起こるあらゆる出来事や変化を受け入れることができます。そしてその環境で最善を尽くすこと。そうすると私たちは自然と天命に運ばれていくようになっているのではないかと思います。

これから、みんなの先輩である和泉屋の井上 確 社長さんにご講演を賜ります。演題は「挑戦する力 変化する力」です。昨年の口加塾でご講演いただいた東京マラソンのレースディレクターである早野忠明さんの演題は「変化を恐れず挑戦する力」でした。奇しくも、お二人の先輩方が後輩に送るメッセージのキーワードは「挑戦」と「変化」です。

今年の8月、今日のご講演をお願いするために井上社長さんにご挨拶に上がりました。その時、井上社長さんが「人生ってのは面白いよね！」と目を輝かせて生き生きとお話されたのが印象に残っています。「面白い」というのは奥が深い日本語ですよ。楽しいとか愉快というだけの意味する言葉ではありません。「面白い」の裏には幾多の困難やご苦労もあられたでしょうし、苦悩されたことやうまくいかなかったこともあったと思います。そういうすべてのことを含んで「人生は面白い」という境地に達せれたのだと思います。

雲仙市愛野町に本社を構えられカステラランドや海に見えるレストランを経営されている社長さんと紹介した方がみんなには馴染みがあるかもしれませんが、しかし、最初からカステラランドや海に見えるレストランが建つ訳ではありません。日本のどんな大企業でもスタートは小さな町工場です。また、大きな川、大河も源流を遡っていけば、始まりはチョロチョロと流れる山の湧き水です。それが水を集めて川となり、支流と合流しながら大河となっていくのです。まさに「ローマは一日にして成らず」。みんなの先輩でもある井上社長さんはどんな「挑戦や変化」を経て今の地位を築かれたのかを拝聴し、これからの自分の生き方を考える時間にしてください。